

白岡ニュータウン自治会だより 7月七夕号

平成14年7月1日

白岡ニュータウン自治会発行
会長 岡田 光 旦

挨拶と花と緑の
明るいニュータウン

14年度『第一回ゴミゼロクリーン運動』を終えて

5月26日(日)快晴のなか、ゴミゼロ運動に多数(参加者申込集計で大人と中学生以上が952名、小学生以下が160名、計1112名)のご参加をいただき、お蔭さまで街中が非常に綺麗になりました。

春のゴミゼロは行政がらみなので、今回は行政区の異なる新白岡駅前(東口)を外しました(注:結果的には当日ゴミゼロ運動をやられた形跡なし)。

また恒例の「どぶさらい」を実施、町役場から交付された300枚の土のう袋が殆ど使用されました。草抜き、小枝回収などで7ヶ所のゴミ集積所にはゴミ袋の山ができました。

今回も行政(町役場の生活環境課、建設課)の対応が速く、翌日にゴミ袋と枝木、翌々日には土のう袋を余すことなく回収していただき感謝しています。

当日は防災部の飯塚副会長および同部の班長さん方に交通安全の「桃太郎旗」15本を要所要所に配置していただき大いに助かりました。

助かると言えば、衛生部班長さん方の生垣消毒に続いてのゴミゼロ運動への準備でした。正直言って大変でした。作業用品・道具類の7つのゴミ集積場所への配布もさることながら1200本のジュース・お茶のボトルを前にして唾然としました。両部の班長さん方には本当にご苦労さまでした。

欲を言えば男性の参加者が比較的少なかったものの、多くの参加者があったことは、それだけ自治会員の皆様の街を愛する熱意の表れだと存じます。事故も無く、所定の時間内で終わることが出来ましたことに、心から感謝申し上げます。

衛生部担当理事 岡田昭夫



*第一回ゴミゼロ・クリーン運動に関してご感想をお伺い致しました。お天気にも恵まれ、ゴミゼロ運動も無事終了いたしました。お蔭さまで街がとても綺麗になりました。皆様方のご協力に感謝申し上げます。さて、私共は当地に参りまして七年目を迎えますが、今回は全く反対の立場での参加となりました。これまでは関係者のご苦労は如何ばかりかと漠然と想像しておりましたが、申込者数を鑑みた作業配分地図づくり、ゴミ袋・道具類の仕分け、飲み物の買い出し・配分、後片付け等々、緻密な準備があったのです。お恥ずかしいことに、班長を受けて初めて知ったことでした。

住み良い私たちの街は、私たち自身の手で、そのために自治会活動があると改めて認識した次第です。スタートして間もない一行事でしたが、学ぶことばかりです。微力ですが少しでもお役に立てればと思っております。皆様方の更なるご協力をお願い申し上げます。



衛生部班長 加藤 睦子



5月26日(日)は、早朝から日差しも強く絶好のゴミゼロ運動日和でした。衛生部の班長として事前準備(道具類の区分、飲み物の用意等)をして臨んだわけですが、参加者が千人を越えての一大イベントでした。作業は和気藹々のうちに進み、クリーン意識が高まった一日だったように思います。公園・中央通り・学園通りなど公共部分には多数の方々が取組まれ、見違えるようにクリーンになりました。この延長で各自が家周辺を終了後に清掃された方も多いようです。

今後の検討事項として終了時間の設定、参加人数を考慮して各班が行う清掃場所の確認など、あらかじめ決めておく作業がもっとスムーズに行われると思いました。

衛生部班長 宮木 猛

5月26日、当日は天気も回復し、朝から晴れ、汗ばむ程の暑さの下多数の方の参加によりゴミゼロ・クリーン運動が行われました。数日前町のシルバーさんにより草取りが行われた為雑草は殆どなく今回は梅雨に備えて側溝の清掃になりました。排水口が落ち葉や汚泥詰まり、その中にタバコの吸い殻が混じていましたが歩きながらの喫煙・吸い殻のポイ捨ては危険ですのでやめましょう。男性の御協力により路肩排水口も瞬く間に綺麗になりました。

皆様お疲れ様でした。

広報部担当班長 福田保夫



「ゴミゼロ・クリーン運動」について、不思議に思っていたことがひとつありました。それは、皆で掃除する前に草取りがすみ、何時もきれいになっていることです。班長になって初めて分かったことですが、事前に町の方で草取りを済ませる段取りになっているとのことで納得しました。今回当班では14世帯中12世帯から出席があり、嬉しい限りでした。時間とおりに集合し、がやがやしているうちに朝礼が始まり、また、日差しの強い中作業はいつものとおり進行して、1時間半の予定が1時間で終了しました。流れた汗は、ジュースなどで水分を補給してもらいました。今回は飲み物のほか軍手も全員に支給されました。この軍手は洗濯して次回も使用したいものです。

広報部担当班長 宮城 淳



白岡ニュータウンに住むようになって約2年、私にとっては4回目のゴミゼロ・クリーン運動ですが、今までは急な仕事ははいたり家族まかせ、今回ようやく初参加となりました。

行楽日和の晴天にもかかわらず、多数の参加者があり正直驚きました。自分達で綺麗にしようという皆さんの思いが強く感じられました。全員の熱心な作業のおかげで、側溝の清掃は時間がかかるんじゃないかという心配も杞憂に終わり、予定より30分程早く作業を終えることが出来ました。街が綺麗になると共に気分も爽快でした。飲み物の全員進呈も好評だったようです。

広報部担当班長 松本俊哉

“ゴミゼロ運動街角インタビュー！！”

今回のゴミ・ゼロ運動では、参加された住民のみなさまにインタビュー形式でご意見・ご感想を伺いました。そこで発言頂いた内容を整理すると以下の通りです。

1. 良かった点

- ・ 開始時刻はこうした活動をするのにちょうどいい時間だと思う。
- ・ 今年は男性の参加が多かったように思われ好ましいことだと思う。
- ・ 側溝の清掃はその大半を男性にやってもらったので大変助かった。

2. 今後検討・改善してほしい点

①作業用具関係

- ・ 側溝の清掃がメインなのに泥を掬いだす長めのショベルのようなものがない。
(あっても数が少なく全体に行き渡らない。)
- ・ この種道具は十分な量を用意してほしい
- ・ 袋の使用説明が不十分

②作業分担関係

- ・ 分担内容がはっきり説明されず、作業が非効率となっている
- ・ いくつかの街区がまとまって一定範囲を分担することになっているが、各街区単位に範囲を切り分けてほしい
- ・ やらなくていいと言われたのでそのままにしておいたが、公園（さくら公園）内の雑草が全く刈り取られていなかった。穴の開かないような作業範囲の切り分けが必要

③その他

- ・ 空地の草が伸び放題になっているが、街全体の美観を損ねるので対応すべきだ。
- ・ 白岡町で管理すべき樹木の手入れが極めて杜撰。植えるだけうえてメンテナンスしないのは問題だ
- ・ 側溝の清掃がメインなのだから、「ゴミ・ゼロ運動」ではなく他にもっとふさわしいネーミングがあるのでは？
例えば「側溝浄化運動」というのはどうか



みなさまのご感想はおおよそ上記の通りでした。これらの貴重なご意見を基に、次回より充実した運動となるよう自治会役員会等でも検討していきたいと思えます。

作業でお忙しい中、発言にご協力頂いた方に感謝申し上げます。

……文責 広報部……



通勤途中のタバコのポイ捨てはやめましょう！！

『夏休みの子どもたちをよろしくお願ひします。』

白岡東小学校PTA会長 片川朱実

今年度も新しい委員さんによりPTA活動がスタートしました。107名の委員さんのうち43名がニュータウンのお母様方です。お仕事をされていたりお子様が小さかったりと、それぞれ事情があるなか、どの方にも気持ちよく委員を引き受けて頂きました。

和やかな雰囲気の中にも熱心に取り組んでいただく皆様と活動できます事を嬉しく思います。

素敵な出会いの場となるPTAですが、人と人の触れ合いの中では時に辛い事もあるでしょう。しかしそれ以上に得るものも多いでしょうし、何より私たち大人が何事にも前向きに明るく取り組んでいく姿を子どもたちに見せる事は、貴重な教育にもつながると思います。

皆様既にご存知の通り、文部科学省が今年度から実施する小中学校の児童生徒に対するきめ細かな指導の充実を目的とした「学力向上フロンティア事業」の研究委嘱を受け、白岡東小学校が「学力向上フロンティアスクール」に指定されました。

東京学芸大学教授（元文部省小学校課教科調査官）伊藤説朗先生を指導者にお迎えし、「算数科」を通しての研究に取り組まれています。子どもたちの学力が確かに向上したという成果を残せるようにと、日々熱心に取り組んで下さっている先生方のお姿に感謝すると共に、親である私たちはお手伝い出来る事があるならば、少しでも力になりたいものです。

さて、学校週5日制がスタートして早や4ヶ月、各ご家庭ではどのような休日を過ごされているのでしょうか。「ゆとり」とはじっくりと学ぶ時間でもあり、子どもの休日の過ごし方については大人のかかわりが不可欠です。また、学校、家庭、地域がそれぞれの責任を果たしながら、連携し協力しあっていくことが重要でしょう。

白岡東小学校PTAでは、今まで小学生だけを対象に行ってきた夏休みのラジオ体操を、今年は地域の人たちと合同でできるよう計画しました。子どもも大人も一緒になって体を動かす事はいいことですし、また、人とかかわりの基本は「あいさつ」です。

ラジオ体操に参加される方々がみなさん互に「おはようございます」のあいさつで、つながっていかれる事を願い、さらにそこから、

「声かけ運動」「あいさつ運動」へと発展できればと思います。基本的なあいさつ、思いやりの一言、お叱りの一言、そして共感の一言など、さまざまな「声かけ」を通したふれあいの中で、子どもたちを育てていき、コミュニケーションのある地域づくりを目指していきたいと思っています。そういった意味で地域一体のラジオ体操は非常に有意義でしょう。

このような事が実現できますのも社会福祉委員の皆様、そして地域の方々のご協力あつての事です。あらためて感謝申し上げます。

微力ではありますが、子どもたちのためになる事であれば、惜しむことなく働かせて頂きたいと考えております。

今後も白岡東小学校の子どもたちをよろしくお願ひ申し上げます。



<私の視点> 『出会い……』

田端 勇治

もう15年以上前に読んだ本で、「命の器」という私の好きな宮本 輝という作家の作品がある。宮本 輝36才の時に書いたエッセーである。その中で彼は次の様に言っている。「運の悪い人は、運の悪い人と出会ってつながり合っていく。やくざのもとにはやくざが集まり、へんくつな人はへんくつな人と親しんでいく。心根の清らかな人は心根の清らかな人と、山師は山師と出会い、そしてつながり合っていく。じつに不思議なことだと思う。抗っても抗っても、自分という人間の核を成すものを共有している人間としか結びついていけない。その怖さ、その不思議さ。“出会い”とは、決して偶然ではないのだ。でなければどうして、“出会い”が、ひとりの人間の転機と成り得よう。私の言うことが嘘だと思う人は、自分という人間を徹底的に分析し、自分の妻を、あるいは自分の友人を、徹底的に分析してみるといい。“出会い”が断じて偶然ではなかったことに気づくだろう。どんな人と出会うかは、その人の器次第だ。」

随分、長くなってしまったが、「なるほどなあ」と思わせてくれるので引用させてもらった。このニュータウンに引越してきてから14年になろうとしている。この町で、様々な人達とも出会い、ときには酒を飲みながら、ときには温泉につかりながら、様々なことを語りあってきた。3年程前には、歌の好きな仲間で「新白岡カラオケ愛好会」という会をつくり、土曜日の夜水割り又はウーロンハイを飲みながら、好きな歌をうまいへた関係なく楽しく歌っている。教える先生がいる訳でもなく自己流で歌っている。白岡町の歌謡連盟にも加盟し、他の会の人達とも知り合うことができた。

私は現在52才。学校での先生・友人との出会い。職場での上司・同僚との出会い。地域での人々との出会い。様々な人々と出会ってきた。私の妻との出会い。子供達との出会い。それぞれの出会いに感謝したい。またこれからも色々な人達との出会いがあるであろう。どんな人と出会うかは、その人の命の器次第だと宮本 輝は言っている。このニュータウンで、私の命の器を磨いていきたい。

今回「7月七夕号」の原稿依頼を自治会よりいただいた。七夕は7月の7日、私の妻が亡くなったのは、昨年七夕の翌日の7月8日であった。文章を書くのを苦手としているが、これも何か不思議な縁かなと思いきかせていただいた。

点 描

……ワールドカップ開幕……

甲斐庸夫

待ちに待ったワールドカップが開幕した。連日、ハイレベルの好試合でサッカーファンだけでなく普段、縁のなかった人達も魅了されている。この文が読まれる時はすでに優勝チームが決定している。どのチームだろうか、ブラジル、アルゼンチン、イタリア、ドイツあるいは日本かもしれない。

日本の人々がこれほど熱狂している姿は生まれて50数年だが今まで見たことがない。阪神優勝やオリンピックでもそれなりに熱狂的な応援や報道もあったが、今のワールドカップのそれとは比較にならない。ワールドカップが如何に世界的なビッグイベントなのかオリンピックと比べても実感できる。

オリンピックは国を代表してはいるが個人のメダル獲得である。しかも、何十種もの競技がある。サッカーひとつの競技で何億人という人々がこれほど熱狂するのは、スポーツとしてのゲームを超えている。まさに国の威信をかけての戦いとも言える。時として人々を暴走化してきた事実もある。フーリガンがその典型である。日本に負けたロシア人がモスクワで暴動を起こしたが、もし日本が負けていたらどうであつたらうか。このような状況にいままで無かったのが幸せなのか、日本の応援は素晴らしいという外国人が多い。とても嬉しいことである。統一の取れたしかも好感の持てる応援はまさに12人目のプレーヤーにふさわしい。これに応える日本チームも素晴らしい。人選やら采配で何やかや言われたこともあるがトルシエ監督の評価は勝てば勝つほど高まる。



2002年6月はあっという間に終わってしまうだろう。8月は夏の甲子園、10月はプロ野球のペナントレースそしてメジャーでのイチローの活躍など、主役は変わっていくだろうが、スポーツ愛好家にとってなんと素晴らしい思い出の一年になっていく予感がする。ひょっとしたら日本が優勝するかもしれない。そんな夢を見れる興奮がいつまで続くのか。今年の夏は異常に早いようだ。



『女性の出席を主とする班長会』開催

さる6月15日(土)小雨がぱらつく中、午前10:00より女性の出席を主とする班長会が開催されました。



本班長会の実施内容は以下の通りです。

【I】会の構成

出席者 全班長72名中43名及び自治会役員

司会 自治会森田副会長

【II】開催にあたっての司会・会長よりの発言

1. 司会の森田副会長より以下の発言

①班長経験年数・回数 of 聴取 ニュータウン5年未満および2回目の人数聴取

②班長の役割説明：街区の当番・所属部署での立案、実施・所属部以外の応援（文化部主催の行事・防災訓練等）

③役員 of 紹介

2. 会長挨拶

今当ニュータウンに最も求められているのは住民間のコミュニケーション。その意味から、各班長 のみなさんに早期に班会を開いて頂きたい。

【III】討議内容

討議は特にテーマを限定せず、班長から出された意見・要望・疑問をベースとしたフリディスカッション 形式で行われた。（以下テーマ毎の討議内容を掲載）

1. 所属部決定方法

毎年各班長は自治会の各部署のいずれかに所属することになるが、従来の完全抽選方式を改め、本年度はまず所属希望部署を聴取し、希望人数の調整をあとで行うやり方とした旨辻野総務理事より説明があった。これについては出席班長からは特に異議はなかった。

2. 役員 of 選任方法

役員 of 選任方法 of 過程を知りたいとの意見が出された。これについては岡田会長より、「自治会より事前に全住民に対して自薦他薦を問わず広く募集を行っており、オープン な形で理事が選出されている」ことを説明。 また今後の理事選出に際しては、「募集期以前の推薦情報も参考資料として寄せてほしい」旨岡田より呼びかけがあった。

3. CATV 関係

・CATV の映らない世帯があるとの指摘があった。これについては岡田会長よりシステムの問題ではなく、当該世帯に設置されているTV of チャンネル合わせの問題である旨説明があった。

・CATV がときどき映らなくなる→広報部岡本理事より、放映しながらデータ of 入替え作業ができるシステムとなっておらず、広報部でデータ of 入替中は放映できなくなる実情を説明

4. 生垣消毒 of 件

☆班長からの意見は次の通り

- ・やった後すぐ虫が発生する（あるいは駆除されていない）
- ・消毒の仕方が杜撰
- ・苦情を言った人でやり直ししてもらった人がいる。自分も頼もうと思ったら締め切りがすぎたと言われた。いつまでに誰にクレームを言えばいいのか
- ・監視していないと作業を手抜きする
- ・公園等白岡町の管轄区域で効果的な消毒がなされない箇所がある。自治会を通じて町役場に働きかけてほしい。（時期・回数等）

★これらの意見に対し、衛生部岡田理事より以下の説明があった

- ・本年度は902戸中694戸(77%)の申込があり、昨年比約10%の申込増となった。昨年度の実施結果を踏まえ、本年度は種々改善を試み、自分としては「よかった。」という声をかなり聞いている。本会で厳しい意見がいろいろ出されたことについてはやや意外感がある。再度総合的にやり方を考える余地があると考えている。
- ・海外では薬剤散布自体問題視されているケースもある(猛毒であり人体に悪影響を与える可能性があるから)また殺虫効果の強すぎる薬剤では樹木・人体に悪影響を与えかねず、殺虫効果だけに目を奪われるべきではないのではないかと。業者側でもできるだけ誠意をもって対応しようとしているが、1700円の料金であれもこれもというのは無理がある。中には盆栽にまで散布しろという住民もいるとのことでありこの辺りはいかがなものか。現状業者と住民の間で認識にかなり開きがある。またそもそも薬でできない虫もある(白蛾のようなもの)ことにもご留意頂きたい。

★また他の役員から以下の意見がだされた

- *森田副会長・現在の一斉散布だけでは不十分。時期に応じて、足りない部分は各世帯で！
 - ・2chでの「お知らせ」には、衛生・広報の連日の努力があったことを知ってほしい。
- *岡田会長
 - ・自治会費で全戸消毒したらという意見もあるがそれはできない。
 - ・個人で消毒するには必ず隣近所に事前に連絡してほしい

5. 班会について

☆班長から以下の意見が出された

- ・やってほしい人とやってほしくない人がそれぞれいてどっちか決めかねている
班長からはなかなか音頭をとれないので、自治会から強力な働きかけをしてほしい(班長としても大儀名文がないとなかなか開催できない)
- ・班会をやっても全メンバーが集まる訳ではない。それに対して班会費は全メンバー分をもらっている。余った分はどうすればよいか。(返そうとしたら自治会から返す必要なしと言われた。)
- ・ルネマンション住民の多くは「班会」というものの認識自体ない

★これらの班長からの意見については岡田会長から以下の説明があった

そもそも冒頭の挨拶で申し上げた通り、現在役員会でも班会を積極的に行って頂くよう強く働きかける方向で動いているが、これは阪神大震災での被災者の体験が大きな契機となっている。つまり阪神大震災の際、平素コミュニケーションを積極的に行い、各々の世帯の実情がお互いによく知り得た地区の住民の被害はそうでない地区の被害比大幅に少なかったとのことであり、住民間のコミュニケーションの大切さが改めて認識されたことによる。(阪神大震災では、日頃からお互いをよく知っていた地区の住民の生存率が高かった。)班長からの意見にもある通り、今後自治会から従来以上に班会の開催を強力に呼びかける。

★また司会の森田副会長からは

- ・CATVのトップにも班会の開催を呼びかけるよう広報部に要請する
- ・班会を開かず、班会用予算でゴミ袋を購入し、それをメンバーに配った例も耳にしたが、主旨を理解していないやり方であり遺憾との発言があった
- ★企画部 藤嶋理事からは「緑化規約がドラインで細かい規準を設けているが、結局はコミュニケーションの問題が解決されない限りいかに規定を策定しようと問題は全く解決されない」との発言があった。

6. 箱型ブランコの撤収について(企画部藤嶋理事より)

「箱型ブランコ」による事故が多数発生している。(3年間で287件の死亡事故あり)
さざんか・つつじ・中央・さくらの4箇所に設置されている「箱型ブランコ」は撤収されることとなっている。(白岡町全体では14箇所に箱型ブランコが設置されているが、全て撤去の予定)代替としての遊具の設置予定は今のところなし。(安全規準が確立されていないこと、予算上の問題両面から)公園のバリアフリーの問題・さくらの木の問題等かつて住民の声をあまり聴かず実施し、結果としてクレームになったケースがあったことを踏まえ、箱型ブランコ・音楽放送中止の件については一定期間住民に告知し意見を求めた上実施したい旨森田副会長より発言があった。(特に遊具に関しては子供のいる家庭の意見を求めていきたいとの発言あり)また撤去撤収については、防犯防災担当飯塚理事より、「危険であるからという問題だけを取り上げて、公園の遊具を取り払うのは簡単である。何故、危険なのかを知らない子供の親が注意をはらい育てる。この過程がもっとも大切なのではないかと思う。さらに、学校教育、地域が一体となった手助けをして行くことが重要ではないか。」といったコメントがあった。

7. 空き巣・泥棒の問題

★飯塚副会長より以下の報告があった。

- ・5月から白岡交番に泥棒の通報10件、白岡駅前交番への通報4件があった。未届けのものもあることを推定すると相当な被害が発生している。自治会だより、CATVを通じても注意喚起しているが、まずは各家庭で十分注意していただき、それに加えて隣近所のコミュニケーションを良くし不審者に対する声かけをし合うことが重要。
- ・防犯については1丁目、2丁目、3丁目各々で5班に分けて警備体制をとる
なお、泥棒対策のひとつとして生垣を低くしておく(120CM位にしておく)ことが効果的である旨岡田会長よりコメントがあった。

8. 班長会の実施回数について

森田副会長より班長会の実施回数に関し、「班長会として班長に集合してもらうのは現状本会だけであるが、各行事の事前連絡等のため班長会をもっと多く開く必要があるか。」との質問が出されたが、当面は現状通り資料による事前連絡の上、行事の実施でよいとの意見が大勢を占めた。

9. その他の質疑

- ①電柱の球切れについて→事務局に該当の電柱番号(白岡町照明灯～番・例:高住317A)を連絡してもらえば速やかに対応する。
- ②深夜の公園での騒音
班長より、「深夜に若者が公園で騒ぐことがしばしばあり、苦慮している。自治会でも対応を検討してほしい。」旨要請があった。これについては、飯塚副会長より、早急に新白岡駅前交番の警察官に深夜の巡回をして頂くよう要請するとの回答があった。

[IV] 最後に辻野理事の閉会宣言をもって、ほぼ定刻通りに本会を終了した。

……文責 広報部……

<女性の出席を主とする班長会出席者アンケート>

会の終わりに出席者に下記アンケートをお願いしたところ、34名に回答を頂きました。

[I] 前年度の班会の実施状況について

1. 前年度に貴班では班会を実施されましたか
①実施した 14名 ②実施しなかった 20名
2. (1で「①実施した」と答えた方) 班会のご感想は如何でしたか?
①満足している14名 ②不満 0名
3. (1で「②実施しなかった」と答えた方) 実施しなかった理由は?
①班長からの呼びかけなし 16名 ② 班会について関心が薄い 3名 ③その他・無回答 1

[II] 「女性の出席を主とする班長会」制度そのものについて

- ① 年一回では足りないので回を増やして続けるべき(年2～3回が適当) 4名
- ② 今のままで良い 29名 ③制度を見直すべき 1名
(要見直し点) 女性を区別する必要はないのではないか

[III] 会の進め方

- ①適切であり特に問題はない 30名 ②改善を要する 2名 ③無回答 2名
(要改善点)・現在は理事と班長が向かい合った形で座席が設けられているが、コの字型にするなど もっと多くの方が話せるような会話形式にしたほうがよい
・もっと役員の人達以外の人々の話を聞くべき

[IV] 会の雰囲気

- ①とても良い 13名 ②普通 18名 ③改善を要する 2名 ④無回答1名
(要改善点)・全理事の出席は不要。かえって話したいことが話せない
・もっと役員以外の方の意見を引き出してほしい

[V] その他ご感想・ご提言等

- 1) 会運営全般
 - ・司会(森田副会長)の進行がとてもよい 2名
 - ・もっと多岐にわたるテーマについて話したかった。
 - ・本会に出席したことで多くの人との面識がもてて有意義だった。
 - 2) その他提案
 - ・白岡高校の横にニュウクソンの看板があるがそこにカーブミラーをつけたらどうか
 - ・ゴミゼロ運動の直前にシルバー会で除草作業を行っているのだから、ゴミゼロでは除草は不要ではないか
- ※アンケート へのご協力ありがとうございました

……文責 広報部……

“我が故郷”

山口千穂

「故郷」という言葉で思い出すのは、子供の頃よく行った柴又の帝釈天の夏の風景です。休日になると父の自転車の前と後ろに兄と乗り出かけていきました。人の波で賑やかな参道を通り抜け境内に入ると、一転して静かな森の中のような空気になり、蝉しぐれが耳に心地よく響きます。母がバスタオルで作ってくれた、大きなひまわりの柄のワンピースを着て、境内を走り回っていたのを覚えています。手水を使うことも、子供にとっては珍しい遊びのようなもので、大人のまねをして神妙な顔をしてひしゃくを使っても、最後には結局水遊びになってしまうのでした。



参道のお店をひやかすのは必ず帰りの時。飴屋さんが長くのぼした飴をトントンとリズムカルにきざんでゆく様子を飽きずに眺めたり、店先で草だんごやくずもちを食べるのがとても楽しかった。そして帰りの自転車では必ず眠ってしまう兄と私。

私にとっての故郷とは、家族と過ごした幼い頃のこうした記憶達です。四季折々のキラキラとしたイメージと共に、心の中にそっとしまっているのです。二人の子供の母親になった今、今度はここ白岡の町で子供にどんな「故郷」の記憶を残してやれるのかな、とふと考えるこの頃です。

《趣味コーナー》

…ホラフキ会… <家庭菜園こぼれ話>

柴崎友光

今25坪程の畑を借りて耕しています。元々うまれも育ちも農村であり、土いじりには、郷愁を感じていたこと、野菜独特の甘味のある枝豆やキュウリを食べたい、というのが始めたきっかけです。

始めてから6年になりますが、最初は、珍らし物（例・オカヒジキ、白ナス）にも手を出しましたが、段々と定番物に収まってきました。何を作るかを定める一番の基準は「新鮮さがどれだけ味に直結しているか」です。採りたての枝豆のあの甘さは、なんともいえず、もう店で買う気がなくなります。

こんな訳でサツマイモやにんじんは作りません。たった25坪ですが、実りだすと小人数の我が家では食べ切れません。無理矢理ご近所にお付き合い頂いています。「おいしかったよ」と言って頂けると小学生のように嬉しくなります。

まだ、現役のため農作業は、土日に各1時間位ですが、感じることは幾つかあります。先ず「作物は正直者」です。手をかければ必ず応えてくれます。決して裏切ったりしません。（実際は、手をかけすぎて、野菜に迷惑がられています）。毎朝ウォーキングがてら、一度は見に行きますが休みの日には、朝・昼・夕と3回挨拶に行きます。俗に言う「野回り」です。妻からは変人呼ばわりされます。「そんなにすぐに大きくなるものでもないのに」と。それでも、ボーツと眺めていると気持ちが落ち着いてきて野菜語が理解できるようです。



「趣味と実益を兼ねて」とは、よくいわれますが、確実に「趣味と実損」を兼ねています。いくらがんばってみても、お店にあるような安くてスタイルの良い野菜は作れません。買ったほうがはるかに安い。その意味では、プロの農家の野菜は安すぎます。ご苦労がよくわかります。「無農薬栽培」とはとても響きの良い言葉ですが現実にはほとんど無理です。なるべく消毒はしないようにしていますが、土作り、益虫、益鳥の助けがあって初めて実現するのではないのでしょうか。その意味では、店頭での安易な「有機・無農薬」には、ご用心。畑には花も植えます。秋の彼岸には「孔雀アスター」の墓参りが定着しました。たった25坪ですが私には語り尽さない25坪です。

【ホラフキ会会則】自分の収穫した作物の自慢話の大ボラは歓迎、但し他人の収穫物に関しては発言禁止の会です。新白岡・高岩在住の家庭菜園愛好家（現在は13名のメンバー）年2回の総会（飲み会）。

《子供コーナー》

【一りん車にのれたよ！！】

3年生 石井まほ

わたしが、一りん車にきょうみをもったのは、二年生の夏でした。さいしょは、竹馬にしようか、まよったけれど一りん車にしました。それは、一りん車にのれるとカッコいいなあと思ったからです。ぎょう間休みや昼休みは毎日れんしゅうをしました。それでももも子ちゃんがいっぱい教えてくれました。けれどそうかんたんにはもも子ちゃんのようにはできません。わたしは、いつものばいれんしゅうしました。でもやっぱりもも子ちゃんにはまけてしまいます。足には、キズやあざがいっぱいでき、わたしがくやしがついて、「まほちゃん、だいじょうぶ。1こケガをしたら1こうまくなるよ！」

といっしょに手をつないで歩いてくれました。わたしは、(こんどこそ!!)と一人で一りん車をこぎました。そしたら目つき地のところまで行けました。うれしくてうれしくて泣きそうでした。もも子ちゃんも「すごい、まほちゃん、さいごまでがんばってえらかったね、ほんとうにすごいね。」と言ってくれました。

今では一りん車でもも子ちゃんとおにごっこもできます。

もも子ちゃん、本当にありがとう。

【たのしかった社会科見学】

5年生 瀬上裕司

5月28日、社会科見学に行きました。行きさきは、行田浄水場と利根川大ぜきと埼玉県かんきょう科学国さいセンターで、バスで行きました。

ぼくはバスの中でしかいをしました。バスの中でみんながたいくつしないように、グループの人たちがゲームをやってもりあげていました。やっているうちに、行田浄水場につきました。

行田浄水場では、みんなが安心して水を飲めるように、いろいろくふうをしていました。それから次の目的地、利根川大ぜきに行きました。利根川大ぜきには、水ぞく館みたいのがありました。川の中が見れるというので、魚がいるかなと思いました。でもなにもいなかったの、すこしざんねんでした。

こんどは埼玉県国さいセンターに行きました。そこには、おもしろそうなものがたくさんありました。見学がじゅうなのでグループのみんなと、たのしくこうどうしました。

帰りのバスの中で、ぼくはとてもつかれていました。でも、しかいなのでがんばってやりました。とてもたのしかったです。

【本の魅力】

5年生 鈴木洋子

私は「ハリーポッター」大好き。1巻から3巻まで合計17回読み、これからも読みます。スリザリン生のライバルもいるが、グリフィンボール生の友達がたくさんいて最高にうらやましい。魔法の授業も受けてみたい。特に浮遊術が。クイディッチではピーターがやりたい。

『ホグズミード』に行ってバタービールを飲んだり、買い物をしたい。など、だれでも夢を持つはずです。

ペットも風変わり。ネコは人間界でもめずらしくないが、クルックシャンクスのようなネコはまたとない。ヘドウィング、エロール、ヘルメスは全てフクロウ。ロンのネズミのスキャバズ(実はピーター)、ネビルにはヒキガエルのトレパー、とてもうらやましい。ハリーポッターを読んでいない人がいるとは、今では考えられないほどです。読むたびに新しい発見があります。

作者のJ・K・ローリングさんは『ダレンシャン』という本に感動しましたが、私にはおもしろいけれどハリーポッターを読んだからか、そこまで何度も読める本ではありませんでした。まだ、一度もハリーポッターを読んでない人は必ず読んでみて下さい。だれでも楽しめる本です。私はハーマイオニーが一番好き。みなさんも好きな登場人物が見つかるはずです。

アロホモラの呪文でハリーポッターの本を開き、読んでください。一回といわずに、何回読んでも、楽しめる本です。

【私が最近こっている事】

6年生 楠田麻衣

私は最近メールを始めました。夜ねる前にメールのチェックをして、返事を送る事がとても楽しみです。

でも、それをするには、お父さん、お母さんと約束している事があります。それは、必ず学校の宿題と明日の仕度を早く済ませる…という事です。約束を守れない時は、どんなに楽しみにしていても、メールを見る事は出来ません。

私がメールを始めたくっかけは、友達がよくメールの話しを楽しそうにしている、私も興味を持ち、一緒にやってみたいな…と思ったからです。

メールは、ふだん話せない事でも、不思議と相手に伝える事が出来ます。例えば、みんなには、ヒミツの事や、ケンカをした時など、直接友達にあやまれない時も、メールだったら素直に「ごめんね」を言う事が出来ます。それに、いやな事があってがっかりしている時、お父さんから「がんばれ」のメールがきました。その時は、とてもうれしかったです。

私はパソコンを使う事で、お父さんともっと仲良くなりました。それも良かったな…と思います。でも、この間のメー

ルで、相手をごかいさせてしまいました。今は仲直り出来たけれど、その時は、「言葉ってむずかしいな…」と思いました。これからは、言葉の使い方に気をつけて、メールを楽しんでいきたいと思います。

【みんなで守る町】

5年生 千田貴司

みんなで守ろうみんなの町
 みんなで助け合いみんなを守る。
 そうすればすごい町ができてくる
 だからみんなで守るんだ。
 けんかすればすぐなかなおりすればいい
 そうすれば友達がへらないんだ。
 そうしていい町作っていき。



【トロンとティナ】

4年生 楠田真子

トロンとティナは、いつもいっしょ。
 トロンを呼べば、ティナもくる。
 ティナを呼べば、トロンもくる。
 ときどき、ケンカもするけれど、本当はとっても仲がいい。

トロンとティナは、いつもいっしょ。
 トロンが食べれば、ティナも食べる。
 ティナがたべれば、トロンも食べる。
 ときどき、よこどりするけど、本当はとっても仲がいい。

トロンとティナは、いつもいっしょ。
 トロンが走れば、ティナも走る。
 ティナが走れば、トロンも走る。
 ときどき、お部屋は運動会、本当にとっても仲がいい。

トロンとティナは、いつもいっしょ。
 私がねむれば、二ひきもねむる。
 二ひきがねむれば、私もねむる。
 ときどき、私をかむけど、仲良し二ひきは、私の妹。

トロンとティナは、いつもいっしょ。
 トロンを呼べば、ティナもくる。
 ティナを呼べば、トロンもくる。
 ときどき、ケンカもするけれど、本当はとっても仲がいい。
 トロンとティナは、いつもいっしょ。
 トロンが食べれば、ティナも食べる。
 ティナがたべれば、トロンも食べる。
 ときどき、よこどりするけど、本当はとっても仲がいい。
 トロンとティナは、いつもいっしょ。
 トロンが走れば、ティナも走る。
 ティナが走れば、トロンも走る。
 ときどき、お部屋は運動会、本当にとっても仲がいい。
 トロンとティナは、いつもいっしょ。
 私がねむれば、二ひきもねむる。
 二ひきがねむれば、私もねむる。
 ときどき、私をかむけど、仲良し二ひきは、私の妹。



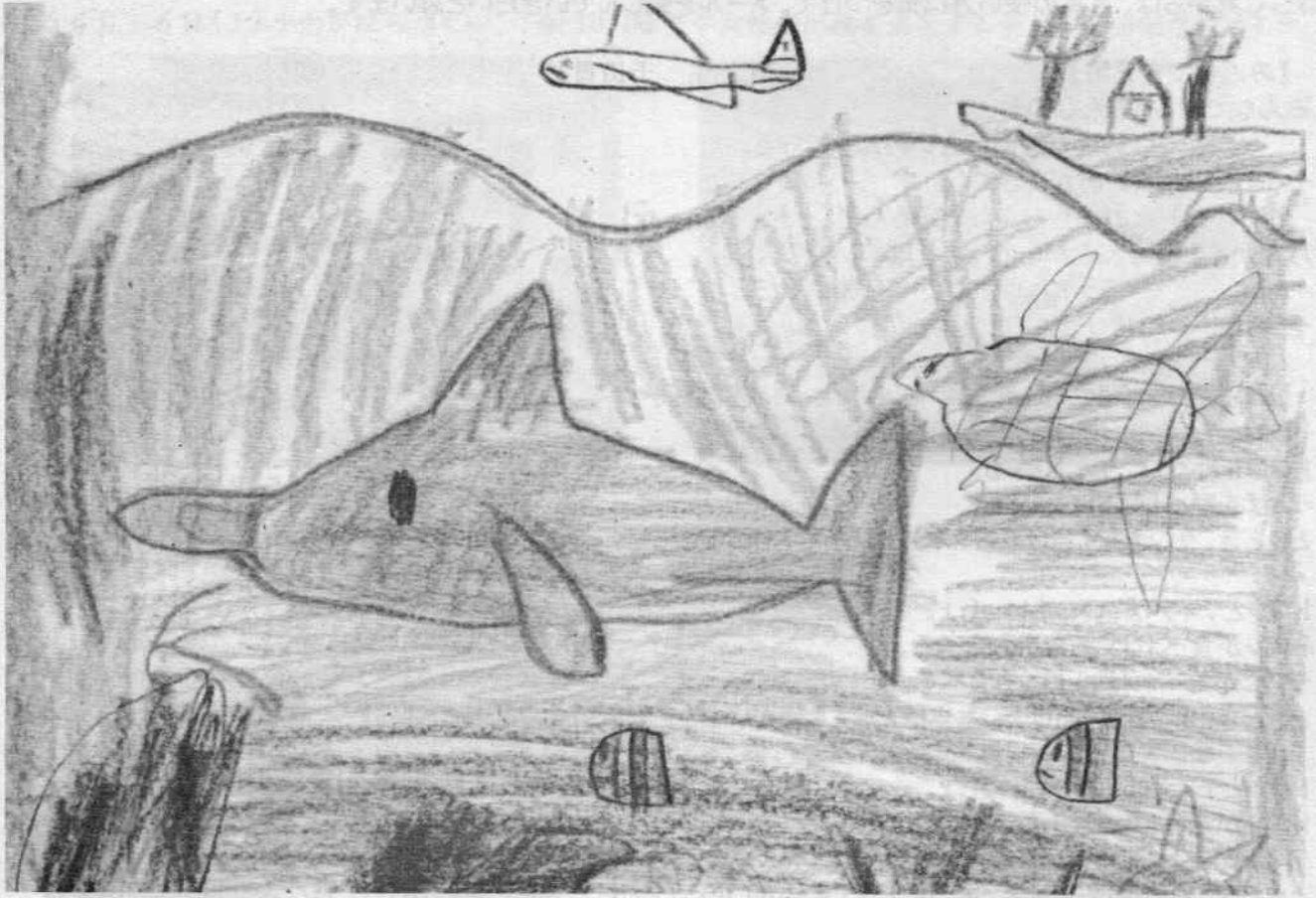
【すてきなたんじょう会】1年生 ふちがみまゆみ



【かえるのかさ】2年生 山本のり



【すいぞくかん】 幼稚園（年長） 久田見 宗

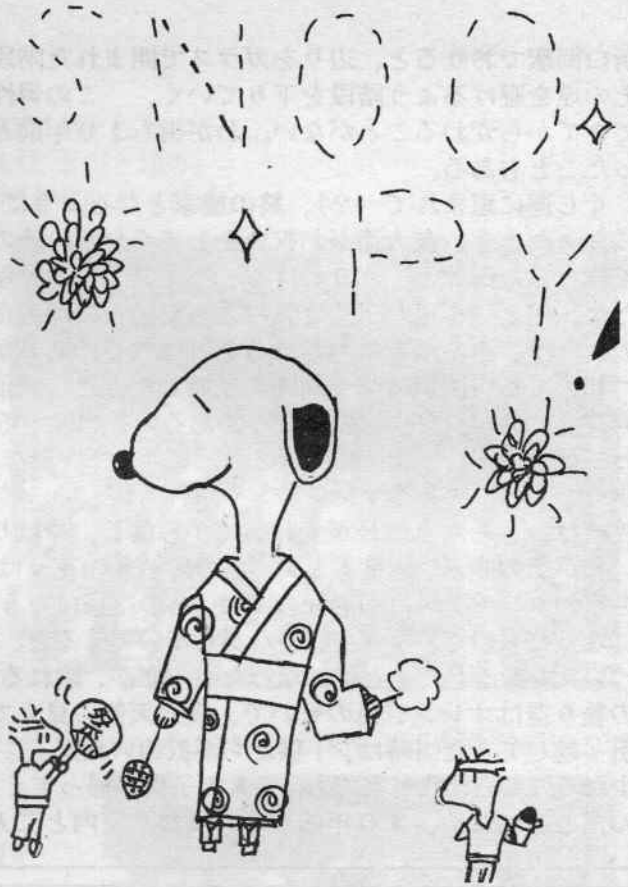


【私のクック】 4年生 久田見 葉月



【デビチル&マンキン】 5年生 残間友也

【スヌーピーの祭】 5年生 山本 寛



【もうすぐ七夕】 6年生 加賀谷 美佳

今年も
あえるといいね☆



《コラム》

“この町・この街” ……日々雑感……

宮城 淳

新白岡駅でおりると、辺りをガラスで囲まれた階段でタバコを吸う人がいて、その煙を避けるよう階段を下りていく。この習性は、10年前に引っ越してきてから変わることがない。わが街も10年前と同じものもあれば、変わったこともある。

くじ運に恵まれて(?)、終の棲家となるようにニュータウンにすむようになったとき、友人達がお祝いをしてくれた。その時、きっと美しい生垣、整然とした街並み、とりわけツーバイフォーの家屋をほめてくれると期待したが、何と「歩道が広くて気に入った」との印象だけであった。確かに雨天のときは、車に水をはねられることはなく、ありがたいものです。

初めて新白岡駅に降り周囲を見渡したとき、電信柱が乱立していて、その向こうにニュータウンの街並みがあるのを想像するのは容易ではなかった。電柱の多さは昔とちっとも変わっていないが、ビル、駐在所、コンビニ、郵便局などができ、駅前の景色は随分変わったものである。少し歩くと、右手にあるマンションや銀行も新しい。信号のある交差点では、夜は問題ないが、朝子供たちの登校時は、きちんと信号が変わってから渡る、やはり気を使う。

わが街の庭木は大変美しい。あの鉢植えの花々は、いまごろ街灯に照らされて眠れないでいるのでは、あの家のクレマチスは満開なのでは、あの空家はどうなったのか、それにしても、我が家の値段がよくも半分になったものだ、などと想いながら歩いてくると、東小学校が見えてくる。学校ができた当初、なんともきついオレンジ色だ、と気になったものだが、馴れるに従ってどうでも良くなった。最近では、むしろ、多少の曇り空はオレンジ色のせいで、良い天気に見えてくるようになったから不思議なものだ。

引っ越してきた当時は、子供たちが沢山いたが、ここ10年ほどの間に小学校や中学を卒業し、子供の数が少なくなった。我が家でも、二人の子供が帰ってくることを思い浮かべてニュータウンに来たが、一緒に住んだことはなく、10年前と変わりなく家内と二人きりの生活が続いている。



ニュータウン自治会ゴルフ倶楽部

『部員募集』のお知らせ

ニュータウン自治会ゴルフ倶楽部では、ゴルフ愛好者を大募集中!!!
シングルさんからハンデ40?・50?・それ以上の方まで、年齢・性別を問いません!
ゴルフをしたい方・ゴルフ命の方・そろそろ始めたい方・夫婦円満の秘訣を求めている方・親子の会話をしたい方、どうぞご入会ください。

※只 今、第15回記念大会の募集をしています。

日 時 平成14年9月8日(日) 場 所 藤和那須カントリークラブ

お隣の方、ご近所の方、参加をお待ち致します。

参加資格 ニュータウン自治会に入会している方です。

問い合わせ 参加申し込みは自治会ゴルフ倶楽部監事 大坪まで TEL:93-7061

申し込みあり次第、こちらからご案内の葉郵送致します。

*添付写真は6月16日(日)に行いました第14回コンペの様子の写真です。

当ゴルフ倶楽部には6名の女性部員がおり、皆さん楽しくプレーしております。

(世話人 齋藤素昌 TEL:92-5802)



《悠友会コーナー》

新白岡悠友会『春の旅行会』…たくみの里…

新白岡悠友会旅行部

悠友会恒例の春の日帰り旅行は5月29日に行われました。新緑の上州たくみの里で「手づくり体験」と「田舎体験」を楽しむ旅です。午前7時30分予定通り群馬に向かって出発しました。白岡工業団地を抜け稲穂通りを通り東松山から関越道に入り、沼田インターから間もなく吹割の滝に到着しました。あいにく水が少なく豪快な滝を見る事は出来ませんでしたが、美しい景色の中で記念写真が撮れました。

たくみの里ではそば打ち、藍染、紙すき、陶芸等の体験施設が揃っていて、伝統的な匠の技を体験する事ができます。女性軍はジャム作りに挑戦して、いちご、りんご、ぶどう等の自然の美味しいジャムを1時間程で作り上げました。

観光と農村を連携させて、活力有る村づくりを進めている様子が伺われた。

帰路月夜びーとろパークに寄り、ガラス工場を見学して、ガラス工芸の職人の技と、色と光が織りなす芸術が楽しめました。帰りの社中では恒例のビンゴで盛り上がり、懇談、カラオケと楽しんでいるうちに予定通り午後6時30分に中央公園に到着しました。天候にも恵まれ、全員無事に楽しい旅を終えることができて、ほっとしました。秋の旅行もたくさん楽しい企画をしたいと思いますので、次回も大勢のご参加をお待ちしております。ご参加の皆様お疲れ様でした。



“雑巾縫い”

新白岡悠友会福祉部

“コードレスでごみ袋なしの電気掃除機”と云う時代で……〔座敷箒〕や〔ハタキ〕などはとっくに姿を消しているのに、〔雑巾〕だけは今だにバッチリ生残っているのは、何とも不思議ですね。〔雑巾〕は、けっしてトテツモナイ働きをする訳ではなく、普段は忘れられている存在ですが……『チョットものをこぼした』とか『チョットそこが汚れている』とか『チョットホコリがついてる』……この、チョットの時に必ず登場して、ジワーっと力を発揮します。

そんなわけで今年も新白岡悠友会では、白岡町の小中学校に贈呈する雑巾縫いを、6月10日にサウスプラザにて行いました。36名（男性7名女性29名）の会員が集まって、10時から2時間程で、350枚（当日縫い上げ数286枚・欠席者事前縫い上げ数43枚・後日追加縫い上げ数21枚）を縫い上げました。すいすいと8～10枚を縫い上げた名人級の針子さんも居れば、2時間掛かってやっと1枚の針男さんも居て、出来上がった〔雑巾〕の顔付きも（模様・サイズ・縫い目）と全部異なっているのも面白いものですね。仕事場（会場）の雰囲気は、お菓子をつまみながら……優しい和やかなお喋りで、いっぱいでした。雑巾縫いのあとは、お弁当にお茶が出て、楽しい昼食会になりました。小中学校の生徒さん、新白岡悠友会の“老人力”を有効に生かして下さい。



『留守を狙った泥棒が貴方の家を狙っています』

防災・防犯・交通担当副会長 飯塚 牧三

私たちの生活を脅かす泥棒が今年の5月から白岡交番に通報のあったものだけでも10件発生しているとのことです。鷺宮・羽生・幸手方面を中心として発生している手口と似ており、白岡ニュータウン内でも4件発生しているとのことです。夕方から夜にかけて留守の家を狙った犯行を重ねています。犯人はガラス戸を割り家の中に侵入し、タンスや押入れ内を物色し現金や家電製品（ノートパソコン）等を盗むというものであり、事件との関連についても、交番でもはっきりしていないので特定できないが複数（女性を含む3人組）による犯行ではないかとのことです。

このような事件を一刻も早く解決し、安心して生活のできる環境を整えて頂くためにはパトロールの強化が第一であると考え、6月1日に久喜警察署に文書でお願いをしました。これから夏場を迎え窓を開ける機会が多くなること。ワールドカップの開催による警備の関係で警察官の数も少なくなることから各家庭の戸締りをしっかりお願いします。

*被害を防ぐ対策として次のことをお願いします。

1. 家の補修を始め植木屋さん等、多数の業者が見回っていますが不審に思われた時は声をかけるか、110番通報して下さい。（女性を含む3人組？）
2. 生け垣はできるだけ低く、庭が見えるようにする。
3. 物音がしたら必ず確認をする。犯人を見つけても腕に自信のある人以外は、犯人を追い詰めないで下さい。
4. 路上駐車をやめる。（やむを得ず駐車をすることは、必ずフロントガラスの所に名前か、連絡先等のメモしておく）
5. 出かける時は隣近所に一声かける。

私の家は大丈夫といった心の緩みが「泥棒」に狙われることとなります。特に1階は二重ロックする等「戸締り」を忘れずお願いします。

《編集後記》

思いがけず広報部員になり、また、初めて編集会議に出て驚きました。まず、自分で記事を書かなければならないことを知りました。いまさら文才のないのを嘆いても仕方ないので、なんとか2篇書いてみました。そのうちの1つは、家内にお願しようかと期待していたが、他のことならいざ知らず、文章は苦手とのこと、結局、忘れた漢字はワープロに任せて書きました。さらに、今期中にあと2回担当することになっており、今から気が重い。

（宮城）

早いもので、この地に移り住んで11年目、初めての班長そして広報を担当することになりました。生垣の消毒、ゴミゼロ運動も無事終わり、街並もとても綺麗になりました。梅雨の季節と同時に開幕したW杯。日本中が大変盛り上がりました。初の決勝進出。トルコに惜敗したものの夢と希望と感動を与えてくれた蒼き戦士達本当にありがとう。この時節健康を害しやすいものです。要注意。皆様のご協力を得、「ニュータウン」のあらゆる情報をお伝えできればと思っています。宜しく願い致します。

（福田）

皆さん、自治会放送の2チャンネルをご覧になっていますか。これから予定されている行事のお知らせの他に、防犯に役立てたい情報や落とし物についてなど、タイムリーで多彩な内容となっています。是非、日々の生活に生かしてほしいと思います。写真画像も多用されていて、家族や知人を見つける楽しさもありますよ。我が家の娘は、総会風景の画面の中に小さく映った母親を見つけて大喜びでした。1日に一回チェックしてみませんか。

（松本）

広報担当理事となって2回目の自治会だよりが発行されてほっとしています。土日しか活動できず、時間的制約の中で若干プレッシャーを感じることもありますが、原稿依頼、アンケート依頼等には皆様から積極的なご協力を頂き、全般的にはスムーズに作業は流れています。

また今まで面識のなかった方々といろいろお話する機会も増え、そういう意味では広報担当というのなかなか意義深いお役目であると思い、この経験を大切にしようと考えています。今後ともみなさまのお力添えをよろしく願い致します。

（田村）

日本全国W杯で湧きました。アメリカ大リーグでのイチローを始めとする日本選手の活躍には、日本人としての誇りを感じます。それにしても日本サッカーの活躍は素晴らしかったです。これを応援するサポーターの熱狂には何か2002年の新しい息吹きを感じました。

しかし、世の中は不景気、それに度重なる政治不信。平和なニュータウンにも5、6月で4件の空き巣があり物騒な街の状況に不安を感じる昨今です。夕方、公園では4～5人のお年寄りが肩を寄せ合いながら、何かを話し合っている微笑ましい風景を見かけます。ニュータウンも高齢化が進んでいます。年寄りにやさしい街……を願いながら七夕号の編集を終えました。七夕号、関係皆様の総意のお陰で出来上がりました。感謝申しあげます。

（岡本）